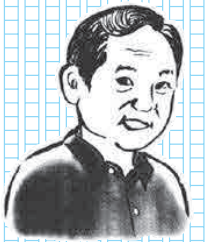

町長エッセイ

１０月６日に小川町４地区の体育祭が行われました。各地区小雨模様の開会式でありましたが、参加者皆さんの熱意により天候も回復し、私も選手の皆さんに大きな声援を送りました。小川地区では、１００m競走を皮切りに、プログラムが順調に進みました。大河地区の１５００m競走や紅白玉入れでは熱戦が繰り広げられ、見ごたえがありました。竹沢地区では、秩父音頭、ピッカリ千両に参加し、八和田地区では親子パン食い競走が行われるなど、それぞれの地区の特色豊かな競技で、４地区とも盛会でした。

１０月１２日には台風１９号による大雨が降り続き、災害の危険性が高まったことから、町も２７か所の避難所を開設し、避難準備情報、避難勧告、そして避難指示を発令しました。県内で初めて大雨特別警報が発表されるなど、記録的な大雨でした。町職員はもとより、区長会、消防団、消防署、県、警察署、自衛隊とも連携し、災害に備えました。数十年に一度の災害とも言われ、今までに経験したことのない大災害でした。町としても、精一杯復旧につとめ、被災された方々が一日も早く元の生活に戻れるよう頑張ってまいります。

１０月１７日には、小川班小中学校の児童生徒による音楽会がリリック大ホールにて開かれました。器楽による演奏や合唱を聴き、気持ちがやすらぐひとときを持つことができました。台風災害により大きなストレスを受けた心を癒す、良い音楽会でした。

松本恒夫